

会社を変えて行くための知的資産経営

＜アフターコロナの10年後を生き抜くための羅針盤＞

〔講座概要〕

知的資産経営とは、見えざる資産（知的資産）に着目した中小企業に適した経営手法として経済産業省がすすめているものです。

わかりやすく言えば、“自社の持ち味を自覚し、得意とする持ち場でそれを最大限に発揮し、お客様に喜ばれ続ける経営を目指していく”のが知的資産経営です。

しかし、自社の持ち味を客観的に知ることは案外難しいものです。

何故なら、持ち味とは色々な要素が複雑に絡まりあってできているからです。

さらに、自社の持ち味をいかに活かし発揮できる機会を見つけるかは言うほど簡単ではありません。少子高齢化、自然災害、事業承継問題、技術革新、SDGSの高まり等、社会や価値観が大きく変化している中で、今最も必要な視点は事業の継続です。

このように大きく変化する時代には、他社の物真似や従来と同じようにしては生き残れません。アフターコロナの10年後を生き抜くには会社を変えていくための自社にあった羅針盤が必要です。自社の持ち味を知り、周りの変化をチャンスに変えるための羅針盤としての活用を目的として、本セミナーでは知的資産経営について基礎と実践をご紹介します。

〔講師紹介〕

日本経営士協会 経営士補 福田 典生 先生

略 歴

昭和36年 佐賀県生まれ 奈良県在住
昭和58年 熊本大学工学部電子工学科 卒業
昭和58年 シャープ株式会社入社 32年勤務
平成31年 Lotus 共創研究所 (<http://lotus-creative-lab.com>) 設立

協会履歴

平成29年 入会

保有資格

知的資産経営認定士、事業承継士
ミラサポ派遣登録専門家
樫原商工会議所専門家連携協議会 登録専門家

．．． 御 案 内 ．．．

〔開催日時〕 令和2年12月13日（日曜） P.M. 1：30～3：00

〔開催方法〕 テレビ会議システム zoom

〔申込方法〕 関西・東海支部事務局 t-fujioka@jmca.or.jp 宛メール送信

〔申込締切〕 令和2年11月30日（月曜）必着

〔参加料金〕 会員無料、会員外2000円

〔定 員〕 10名程度（お早目にお申込下さい）

〔主 催〕 特定非営利活動法人 日本経営士協会 関西・東海支部